

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 小ヶ倉小学校区



令和6年6月22日（土）、自治会や子ども会、消防団、社協支部、小学校育正会など18人の皆さんにお集まりいただき、小ヶ倉小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、子どもたちの健全育成のための活動や地域のささえ合い活動、地域で暮らしていく中で日頃感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①小ヶ倉団地自治会集会所の敷地について

愛宕地区公民館の土地について、県から市に移管する手続きが進められているとの報道があった。小ヶ倉団地自治会集会所についても、同様に県と交渉を進めていただきたい。

市の考え方

小ヶ倉団地自治会集会所敷地についても、県から同様に対応をお願いしたい旨の申出がなされています。そのため、市では同様に市有地との交換の方法により解決できるよう、県と協議を進めております。

回答

②小ヶ倉地区の避難所について

小ヶ倉地区は、災害時の避難所が脆弱だと思う。ふれあいセンターが避難所に指定されているが、海拔が4メートルのため、津波の高さを考えると不安。また、台風や大雨の際には、近くの高齢者が避難しているため、防災用のエアマットを用意するなど、改善の余地があるのではないかと。

市の考え方

小ヶ倉地区ふれあいセンターは、海拔4mとなっていますが、県が指定する津波災害警戒区域ではないため、津波のリスクは少ない場所であると考えています。

地域・避難スペースが床張りの箇所については、横になれるようにクッションマット等の配布をしております。また、高齢者や体の不自由な方から要望があった場合は、段ボールベッドを運搬し設置する等、避難者が過ごしやすいよう、指定避難所の運用を行っております。

回答

③防災行政無線について

近くに山があるため防災行政無線の放送が反響する。数年前からスピーカーの位置変更の申出をして変更してもらっているが、それでも反響してほとんど防災情報が届かない。山の上にスピーカーを設置できないか。

市の考え方
回答

防災行政無線については、天候や斜面等の地形、住宅の気密性向上などによって、聞き取りづらい場合があります。聞き取りづらい等の意見が寄せられた場合は、必要に応じて音達調査を行い、音量やスピーカーの向きの調節等を行っています。

防災行政無線の放送以外にも、防災メールやテレビのデータ放送、テレフォンスーサービスによる電話案内、長崎市の各公式SNSなど、様々な手段で防災情報を取得できますので、ご利用ください



▲詳しくはこちら

④地域の情報の共有について

まちを歩く機会が減り、スマートフォンが普及したことで、若い世代が掲示板を見なくなっており、まちの情報の分断が生じ、自治会加入率の低下にもつながっていると思う。うまく情報共有することで、何か変わってくるのではないかな。

市の考え方
回答

現在、自治会の掲示・回覧を電子回覧板と併用する検討を進めており、若い世代も含め情報共有の向上に寄与すると考えています。年代ごとの情報の分断が生じないように、電子回覧板と紙回覧板のハイブリッドでの運用を進めていきたいと考えています。

また、今年度は、自治会活動に抵抗感を持っている若い世代など自治会に関心がない方に向けた動画制作とそれを用いたPRを行う予定です。どのようにしたら若い世代が自治会活動に興味を持つか検討しながら、加入につながる取組を行ってまいります。

そのほか、「砂防ダム建設工事に伴い整備された道路の今後の方針を聞きたい」、「小学校グラウンドの整備を考えてほしい」、「自治会の加入者減少や担い手不足などを考えてほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



鈴木市長のひと言

少子高齢化が進む中で、地域の皆さんがそれぞれの立場で、色々な工夫をしながら、小ヶ倉地区を盛り上げていこうと活動されていることがよく分かりました。

市としても皆さんのお声をしっかりと受け止めながら、どういことができるのか、みなさんと一緒になって考えていきたいと思えます。



参加者からの感想

地域の方の意見と市長の意見と聞けて貴重な時間でした。市長を身近に感じられてよかったです。

長い間、役員として頑張ってらっしゃる人が多いので、もっと若い人に参加してもらって世代交代ができるといいと思いました。

地域の様々な方々の意見交換の場にもなったのでつながりを感じることができた。

年齢が違う方々が集まったの意見交換会でとても勉強になる時間でした。

